



## 羅針盤

発行:サイクルズ株式会社  
 編集:サイクルズ株式会社 大森オフィス  
 東京都品川区南大井6-26-3  
 大森ベルポートD館 8F  
 電話: 03-6410-8797  
 URL: <https://www.cyclers.co.jp/>

## Topics

## 我が国の温室効果ガス排出量の推移

前号では「改正・気候変動適応法」を取り上げました。本号ではその気候変動の一因である「温室効果ガス排出量の推移」についてのご紹介です。

環境省は4月14日に「2024年度の我が国の温室効果ガス排出量及び吸収量について」を発表しました。

2016年11月に発効したパリ協定では、全ての締約国が温室効果ガス(以下「GHG」と記します。)の排出削減目標を「国が決定する貢献(NDC: Nationally Determined Contribution)」として5年毎に提出・更新する義務が課されております。

我が国は、2050年ネット・ゼロと整合的で野心的な目標として、2030年度にGHGを2013年度から46%削減することを目指すこと、さらに50%の高みに向け挑戦を続けることを表明しております。

また、2035年度、2040年度において、それぞれ60%、73%削減することを目指すことも表明しました。

我が国の基準年2013年以降のGHG排出量の推移を右図に示しました。図中の赤線が2050年ネット・ゼロに向けた目標で、図では2030年までの目標を記しております。

灰色の棒グラフと折れ線グラフの「排出・吸収量」は、排出量から吸収量を差し引いたネット排出量を示しており、緑色の棒グラフは「森林等の吸収源対策による吸収量」です。よって、吸収分を考慮しない排出量は「排出・吸収量」と「森林等の吸収源対策による吸収量」を足した量すなわち灰色と緑の棒グラフを重ねた量となります。

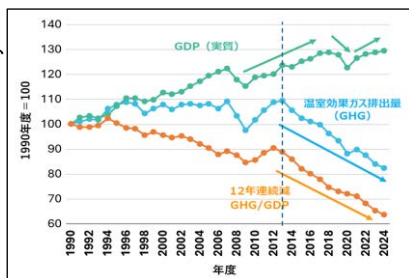
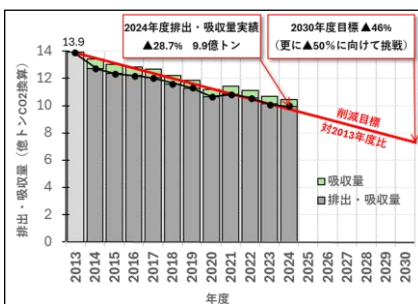
2024年度の我が国のGHG排出・吸収量は約9億9,400万トン(CO<sub>2</sub>換算)、2013年度比28.7%減少(▲約3億9,950万トン)。となり、2013年度以降の最低値を記録(初めて10億トンの大台を下回る)。全体としての減少傾向を継続しております。

GHG排出量は、経済活動に伴うエネルギー消費によって引き起こされますので、経済活動が減衰しているのではないかとされるかも知れません。

しかし、右図に示すように、2013年以降の実質GDP(国内総生産)は新型コロナ禍時に一時的にダウンしましたが増加を続けております。一方で温室効果ガス排出量は減少を続けており、実質GDP当たりの温室効果ガス排出量は、2013年度以降12年連続で減少し、1990年度以降で最小となりました。

現時点では、目標に向かって順調に推移しているように思えますが、2050年ネット・ゼロの目標達成は容易くはありません。今後も個人・業態等々で叡智を集めて、この難しい目標を達成してまいりましょう。

出典:環境省 [https://www.env.go.jp/press/press\\_04043.html](https://www.env.go.jp/press/press_04043.html)



## Series

## 私の好きなもの (最終回) 【お城】



TCマネジメント人事総務部  
松田 麻希

お疲れ様です。TCマネジメント人事総務部の松田です。前回は「韓流ドラマ」についてお話ししましたが、今回のテーマは【お城】です。

私とお城の出会いは、幼少期にさかのぼります。4歳ごろまで兵庫県姫路市に住んでいたのですが、家族とよく遊びに行ったのが姫路城でした。この城は白鷺城とも呼ばれ、その優美な姿から1993年に世界文化遺産に登録されました。真っ白な壁と堂々とした天守閣、広い敷地に続く石垣や門…。子どもながらに、その美しさは心に響くものがありましたね。その中で特に鮮明に覚えているのは、城の堀にあいている色々な形の穴を何度もくぐって遊んだことです。幼い頃はただ「遊ぶ」感覚でしたが、大人になってから、その穴が、狭間(さま)と呼ばれ、装飾の意味もありますが、城を守るための重要な防御設備だったということを知りました。997か所の狭間があり、その形状や位置によって用途が異なるのですが、例えば長方形の穴は立った姿勢で弓を引くためのものだったり、正方形・円形・三角形の穴は、片膝をついたり寝そべったりしながら鉄砲を撃つためのもので、斜めに張り出した部分にある長い穴は石を落としたりするためのものだそうです。子供の頃くぐっていた穴に、昔の人たちも実際に触れていたのだと思うと何だかとても感慨深いものがあります。

そして、もうひとつ憧れているのが海外のお城です。特にドイツのノイシュヴァンシュタイン城。この城は19世紀に建てられ、ロマネスク様式を基調とした幻想的なデザインが特徴です。ディズニーのシンデレラ城のモデルにもなったことでも有名ですよ！絵本や映画に出てくるようなロマンチックな姿に、写真で初めて見たとき心を奪われました。山の中に佇む白い城、尖塔のシルエット、まるでおとぎ話の世界そのものです。子どもの頃、お姫様に憧れていた私は「ここに住んでみたい！」と夢見ました。現実では難しいけれど、写真や映像で眺めるだけでも心がときめきます。いつか実際に訪れて、その景色を自分の目で見たいというのが昔からの大きな夢です。ただ…実は、飛行機が苦手なので、「どこでもドア」があればいいのに！と本気で思っています(笑)。いつか、(どこでもドアを含めた)大きな夢が叶う日がくることを、生涯の楽しみにしたいです。

お城は、ただ外観を楽しむだけでなく、実際に建設・使用されていた時代の背景などを知ることで、過去と未来を繋ぐ架け橋となり、現代に生きる私たちに、大切な視点で未来を創る力を育んでくれたり、未来を築くヒントを与えてくれると思います。

これで4回にわたる「私の好きなもの」シリーズは終了となります。最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。機会があれば皆さんの好きなものも、ぜひ教えてください(\*‘▽’)/



## Cyclers Topics !

残存価値を最大に！グループで挑む  
マルチバリュー循環/マルチマテリアル循環

サイクルズグループは「サーキュラーエコノミーを追求して、すべてのものに再循環をもたらし、持続可能で豊かな社会を作ります。」をPurposeに掲げています。残存価値を最大限に引き出す再循環を実現するには、マルチバリュー、マルチマテリアル、多様で、多層的な価値を再活用することが求められます。不要になったものの価値を多角的に検討し、リユース、リファービッシュ、→ リメイク、パーツリユース、リビルド、アップサイクル → 資源リサイクル → ケミカル・エネルギーリカバリーリサイクル と段階的に環境負荷が低い方法で循環させる。我々は1社だけではなくグループ複数社と、パートナー様の協力のもと、総合的に再循環に挑んでいます。

